

【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社タカラレーベンに対する「ESG/SDGs評価」に基づく
シンジケート・ローンを実施

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：高島 誠）は、株式会社タカラレーベン（代表取締役：島田 和一）に対し、「ESG/SDGs評価シンジケーション」における「ESG/SDGs評価」に基づくシンジケート・ローンを組成いたしました。

「ESG/SDGs評価シンジケーション」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と弊行が作成した基準に基づき、企業のESG側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同いただいた金融機関によって組成されるシンジケート・ローンとなります。

今回の株式会社タカラレーベンに対する評価結果は、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」、「環境配慮型製品・サービスの提供」、「ローカル／グローバル・コミュニティへの配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において一定のESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 中期経営計画において、ESGの推進に向けた43のKPIを策定・開示し、事業を通じて社会的課題の解決に貢献する姿勢を明確にしておられる点
- ② 事業を通じた環境問題への対応として、早くから再生可能エネルギー事業を展開し、今後も発電規模の拡大を計画しているほか、マンション事業や不動産の流動化事業でも、ZEHマンション・CASBEE認証の取得を促進しておられる点
- ③ 政府のコンパクトシティ構想に参画し、地方都市の居住用マンションの提供を通して、地域活性化等に貢献しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価シンジケーション」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



同社最大規模の発電所
レーベンソーラー千葉勝浦発電所



同社初の ZEH マンション
レーベン長野中御所 THE PEERLESS

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。